

■基礎調査から課題抽出、将来像・基本目標に向けたまとめ（0215）修正版

	新市基本計画の総括	個別計画・担当部署の課題整理	アンケート・ワークショップ
課題抽出・課題整理	<p>少子高齢・人口減少社会の到来</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動への市民の参画も進みつつある一方で、担い手の高齢化等に伴う課題も生じている。 地域活動の高齢化や担い手不足による自治会やまち協の負担感の増加などがみられる。 人口動向や社会経済情勢の変化に対応できる新たな土地利用の仕組みづくりが求められる。 <p>公共施設・社会基盤の老朽化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校施設の計画的な長寿命化や、ICTを活用した授業改善、校務の効率化が必要 建設から20年以上が経過している図書館施設の計画的な修繕も必要。 <p>様々なレベルでの連携の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防・防災、防犯対策は、今後も、地域住民同士の連携強化を促進するための取組が求められる。 福祉部局及び防災部局の連携や、小規模な公共施設における耐震化も進めていく必要。 福祉分野のみならず、関連分野による横断的な地域福祉の取組を推進する必要がある。 より身近な地域で子育て家庭を支援する体制や、行政と子育て支援の担い手との連携強化等が求められる。 観光資源と生産者・事業者とのネットワーク化による産業おこし支援等が必要。 行政の直接支援だけでなく、民間や地域が主体となった取組を支援。 <p>地域を担う人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な文化・芸術活動への参画が促進されるような取組を行う。 人権啓発や男女共同参画の推進にあたっては、参加者の固定化や地域ごとの温度差等がみられるため、より幅広い市民が関心を持つような取組が求められる。 農業は担い手の高齢化を見据えた後継者確保等が求められる。 社会全体で青少年の健全育成を担う意識を高めていく必要。 社会の変化に対応した体験学習及びその実施を担う人材の確保等に取り組む必要。 NPO活動の支援・促進に努めている。社会起業家の支援体制も整った。 政策立案過程や意思決定過程への市民参画機会が増加。 	<p>少子高齢・人口減少社会の到来</p> <ul style="list-style-type: none"> 免許証の自主返納者の増加に伴い、高齢者の交通手段を確保必要。（地域公共交通総合連携計画） 職員の高齢化、退職、人員削減に伴う技術力の確保、技術の継承が課題（新水道ビジョン） <p>公共施設・社会基盤の老朽化</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトな都市構造への転換を進めていく必要がある。（都市計画マスタープラン：都市計画課） 都市公園の施設、遊具等の老朽化に伴う費用の増加が見込まれる（緑の基本計画） 公共施設やインフラの将来の更新費用が、現在の投資的経費総額を上回る（公共施設等総合管理計画：行政経営室） <p>様々なレベルでの連携の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活排水は、いずれ県下処理施設の統廃合含めた広域的処理を検討する必要がある。（一般廃棄物（生活排水）処理基本計画：環境課） 広域観光を結びつけるネットワークを形成する必要がある。（個別計画総括・道路網マスタープラン） 課題解決に向けた官民連携の仕組みづくりが必要である。（まち・ひと・しごと創生総合戦略：政策推進課） <p>地域を担う人材の確保・育成、地域への誇りの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 役員の高齢化や担い手不足などの課題が深刻化してきており、自治会などが行う地域活動をこれまでどおり地域で担うことが困難になってきている。（個別計画総括・市民自治基本計画：まちづくり支援課） リーダーとなる人材、グループが不足し、特定の人に負担が集中。（地域福祉計画） 地域の人材育成に向け、子育て、障がい、生涯教育等が横断的に取り組む必要がある。（健やか親子21計画：健康推進課） 誇りある歴史・自然資産を共有した上で、将来に受け継いでいきたい景観を考えることが重要（風景計画：都市計画課） 	<p>市民アンケート</p> <p>【少子高齢・人口減少社会における市民ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が求める改善点は「保健・医療・福祉などのサービスが不足」「公共交通の便が良くない」がトップ。次いで「道路整備」。 核家族化に伴う、老々介護対策の充実を。 若い世代が働きながら介護負担が軽減されるように。 一人暮らしの高齢者に、行政や近隣住民のフォローが行き届いている町に。 <p>【公共施設・社会基盤に関するニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道、自転車道、車道の区別のついていない道路がまだまだ多いので、安心安全な道路であってほしい。 駅の南北が細い道路でしか繋がっていないので、交通の動線の確保された状態にしてほしい。 <p>【地域を担う人材、地域への愛着等の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明性のある行政活動で市民みんなが近江八幡を活性化させることを理想。 回答者全体では、市への愛着や居住意向は高いが、仕事に育児に中心的に活躍して欲しい30歳代女性が特に「地域への愛着」が薄く「居住継続意向」が低い。 <p>市民ワークショップ</p> <p>【キャッチフレーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> かわらない、なつかしい街 五感躍動 今昔都市 近江八幡 人がつながり支え合うまち 近江八幡 他人ごとにしらない大好きなまち近江八幡 誰かの困り事を他人事にせず、助け合いの心ある市民、市政であってほしい <p>【まちづくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光チーム：歴史と文化をつむぎ、目指せ観光都市 近江八幡！ 産業活性化チーム：「安土」と「八幡」、「新しいもの」と「古いもの」を融合 医療・福祉チーム：子どもからお年寄りまでいきいきとすごせるまちをめざします！

	これからのまちづくりに向けた課題	将来都市像	基本目標・基本姿勢
課題整理	<p>(1) 少子高齢・人口減少社会に対応したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの担い手不足 ベテラン職員の退職に伴う技術・ノウハウの継承 免許証返納者の増加に伴う公共交通へのニーズの高まり <p>(2) 公共施設・社会基盤の老朽化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設・社会基盤の老朽化。補修・更新の必要性 高齢化対応、耐震等防災対応 人口減少や財政状況を踏まえた統廃合や機能の集約 人口構造の変化に対応したコンパクトな都市構造への転換 <p>(3) 地域・事業者・周辺自治体等、多様な連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所単独で課題にすべて対応するのは極めて困難 様々な分野で地域ぐるみの対応の必要性 民間事業者や周辺自治体等との連携の必要性 多様な主体と適切な役割分担のもと、連携体制を構築 <p>(4) 共生社会・生涯活躍社会に向けた人材育成と郷土への愛着と誇りの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 能力に応じてすべての人が互いに支え・支え合う関係 地域の活動が重要だが、高齢化等で担い手が不足し、活動が困難 地域のために活動しようと思えるような、地域への愛着・誇りの醸成 	<p>【コンセプトとキーワード】</p> <p>コンセプト：つながり</p> <p>【案1】</p> <p>人がつながり支え合い 美しい郷土（ふるさと）を受けつぐまち 近江八幡</p> <p>【案2】</p> <p>自然と歴史と文化をつむぎ 未来につなげるまち 近江八幡</p> <p>【案3】</p> <p>豊かな自然と歴史と文化 みんなでつくり 未来につなげるまち 近江八幡</p> <p>【案4】</p> <p>なつかしくて新しい 人がつながり 支え合う 大好きなまち 近江八幡</p>	<p>基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます ～教育・人づくり～ 一人ひとりが互いに支え合い、心のかよう地域社会をつくれます ～福祉・医療～ 豊かな自然、歴史、文化を守り・活かし、未来に引き継ぎます ～環境・歴史・文化～ 地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します ～産業・観光振興～ 時代にあった安全・安心な生活基盤を築き、次世代への礎を築きます ～都市基盤整備～ 協働と連携に基づいてしなやかな「地域の経営」ができる体制を整えます ～地域自治・行政経営～ <p>基本姿勢</p> <p>持続可能なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 内発的発展によるまちづくり 協働・連携による自律的なまちづくり